

赤堀小学校学校評価一覧表①

羅針盤			方策	自己評価①		自己評価②	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	改善策	自己評価	改善策
I 保護者等との連携	1 学校や子どもの様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	①「学校や子供の様子がわかる」と答える保護者が90%以上である。	・学校だよりや学年学級通信・二者面談等を通して学校の情報を計画的に発信する。	A	継続して取り組む		
	2 保護者は学校の諸行事に参加していますか。	②学校行事や学習参観・懇談会、教育相談等の行事に出席している保護者が85%以上である。	・授業参観の内容、懇談会で話し合われることを事前に知らせ、保護者に目的意識を持って来校していただけるようにする。	A	継続して取り組む		
	3 保護者は、学校に連絡や相談がしやすいと思っていますか。	③学校に連絡や相談がしやすいと答える保護者が85%以上である。	・二者面談や日々の連絡等を通して、保護者が安心して相談できる信頼関係の構築に努める。	A	継続して取り組む		
II 確かな学力	4 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	④「授業がわかる」と答える児童が85%以上である。	・ねらいを明確にした学習展開、個の実態に応じた授業支援を行うとともに、学習のまとめと「ふりかえり」を徹底し、その時間の学習内容を身につけさせる。	A	継続して取り組む		
	5 ICT機器を活用した、効果的な授業づくりを行っていますか。	⑤タブレットを活用した授業が分かりやすいと答える児童が、85%以上である。	・タブレットを活用した学習課題や資料の可視化、一人ひとりの思考の交流と共有を通して、考えを深める授業の展開に努める。	A	継続して取り組む		
	6 学習の基礎・基本が確実に身についていますか。	⑥学習の基礎的基本的な内容を身につけていると答える保護者が85%以上である。	・単元テスト達成率の目標を事前に設定し、身につけさせる学習内容を確認しながら児童への指導を行う。	A	継続して取り組む		
	7 児童の学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしていますか。	⑦指導と評価の一体化を図り、適切な指導・支援の充実に努めていると答える職員が85%以上である。	・補助簿等を作成して学習活動を適切に評価し、個の支援に役立てるとともに、評価を次の学習指導、支援へとつなげられるようにする。	A	継続して取り組む		
	8 学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	⑧家庭での学習課題に毎日取り組んでいる児童が85%以上である。	・宿題の工夫や家庭学習カードの活用により、家庭学習の習慣化を図るとともに、時節に応じた展示を工夫し、魅力的な図書室運営を図る。	A	継続して取り組む		
III 豊かな心	9 すすんで英語に取り組む児童が育っていますか。	⑨「英語の授業に進んで取り組んでいる」と答える児童が85%以上である。	・児童が楽しく活動し、親しみながら英語に学習に取り組めるような指導計画を作成し、授業実践する。	A	継続して取り組む		
	10 すすんであいさつをする児童が育っていますか。	⑩すすんであいさつできる児童が90%以上である。	・生活3目標の第一としてあいさつの指導を徹底する。 ・児童会を中心に、朝の通学時にあいさつ運動に取り組む。	A	継続して取り組む		
	11 いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑪学校や学級で友だちと仲良くしていると答えた児童・保護者が85%以上である。	・児童が互いを思いやりながら学校生活が送れるよう、休み時間の過ごし方や道徳、清掃活動などの機会を捉えて互いを思いやる心を育てよう努める。	A	継続して取り組む		
	12 いじめを未然に防止しようとしたり、おきてしまったいじめの解消に努めていますか。	⑫いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である	・日常的な児童とのふれあいやアンケート等により、いじめや不登校の未然防止と早期発見、早期対応に努める。	A	継続して取り組む		
IV 進路・生き方	13 学校のきまりや約束を守って生活する児童が育っていますか。	⑬きまりや約束を守って過ごしている児童が85%以上である。	・きまりや約束を守ることの大切さを伝えるとともに、学級会や道徳の時間などにも児童に考えさせ、児童の意識を向上させていく。	A	継続して取り組む		
	14 自らの将来の夢や希望について考えられる児童が育っていますか。	⑭自分の将来の夢や希望について考えている児童が80%以上である。	・キャリアスポーツ、学級活動や行事等を通して、自分の成長する姿を思い描かせるとともに、はたすべき自分の役割に気付かせながら、将来の夢に向かう意識を高めさせていく。	A	継続して取り組む		
	15 親子で進路について話し合えるよう家庭へのはたらきかけを行っていますか。	⑮親子で進路について話し合えるよう家庭への働きかけを行っている職員が80%以上である。	・キャリアスポーツの作成への保護者参加、「親子で会話の日」の呼びかけを通して、親子で将来の夢や進路について話し合うきっかけをつくる。	B	継続して取り組む		
V 健康・安全・危機管理	16 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	⑯朝食や睡眠の意味と役割を理解し、規則正しい生活をしている児童が85%以上である。	・保健だよりや学校保健委員会等で規則正しい生活の重要性を保護者にも働きかける。	A	継続して取り組む		
	17 健康で病気にかからないよう行動する児童が育っていますか。	⑰病気になるまいよう、手洗い・うがいなどをしっかりしている児童が85%以上である。	・保健指導を通して、手洗い、うがいをする意味と効果を伝え、病気にかからない生活を送ろうとする意識を高める。	A	継続して取り組む		
	18 学校の施設・設備は安全ですか。	⑱毎月1度安全点検を行うほか、日頃から校内の危険箇所の点検、早期修繕に努めていると答える職員が90%以上である。	・安全点検日を月に一度設け、危険箇所、破損箇所を早期に発見、修繕する。	A	継続して取り組む		
	19 学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、自然災害、交通事故防止、不審者対策など、安全教育的徹底を図っていますか。	⑲学校は安全教育を適切に行っていると答える職員が90%以上である。	・非常時を想定した避難訓練を年3回、交通安全教室を年1回実施する。 ・職員、保護者、老人会で役割を分担し、登下校時の安全確保を図るとともに、職員、保護者による通学路の安全点検を実施する。	A	継続して取り組む		
VI 組織運営	20 学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力していますか。	⑳学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力していると答える職員が90%以上である。	・学校目標や学校経営方針の共通理解を図り、意識して学級経営や行事運営に取り組む。	A	継続して取り組む		
	21 校内研修は職員一人ひとりの職能の向上に役立っている。	㉑校内研修での成果が、日々の教育活動の実践に生かされていると答える職員が80%以上である。	・校内研修で得たものを授業の中でどう位置づけていくのかを明確にし、試行と検証を繰り返しながら実践に生かす方法を明らかにしていく。	A	継続して取り組む		
	22 服務規律の確保に努め、信頼される学校づくりに取り組んでいますか。	㉒服務規律確保行動計画をふまえ、日頃の職務に取り組んでいると答える職員が100%である。	・職員会議やC4thを活用して、服務規律についての説明と事例研究を行い、服務規律を守って職務に取り組もうとする意識を高める。	A	継続して取り組む		
	23 各種文書・データ・個人情報、分掌や担当ごとに適切に管理されていますか。	㉓各種文書・データ・情報機器等は、分掌や担当ごとに適切に管理されていると答える職員が90%以上である。	・年度、各分掌、各教育、各学年によってフォルダを階層化し、担当が変わってもデータの引き継ぎが滞りなく行えるようにする。	A	継続して取り組む		
	24 学校は職場環境の改善に努め、職員のライフワークバランスの確立に努めていますか。	㉔意識改革やICTの活用により、働き方改革がすすんでいると考える職員が80%以上である。	・各自に配布してあるタブレットを活用し、通知の配布や各種アンケートの実施を行うとともに、デジタルドリルの活用により、職員の負担軽減に努めていく。	A	継続して取り組む		